

製品名: NG2 (18P16) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14671**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	251kDa

抗原情報

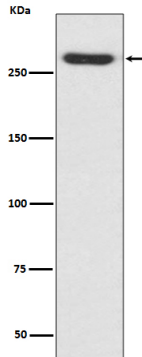
遺伝子名	CSPG4
別名	NG2; MCSP; MCSPG; MSK16; HMW-MAA; MEL-CSPG;
遺伝子 ID	1464.0
SwissProt ID	Q6UVK1
免疫原	ヒト NG2 の組み換えタンパク質

背景

細胞増殖および遊走において役割を果たし、微小血管形成中の内皮細胞の運動性を刺激します。また、軸索再生中の神経突起伸展および成長円錐の崩壊を阻害する可能性があります。プラスミノゲン活性化を促進し、アンジオスタチンを阻害することで、プラスミノゲンシステムを調整する可能性があります。プロテオグリカンは、細胞増殖および遊走において役割を果たし、微小血管形成中の内皮細胞の運動性を刺激します。また、軸索再生中の神経突起伸展および成長円錐の崩壊を阻害する可能性があります。コラーゲン $\alpha 2(VI)$ の細胞表面受容体であり、その基質上で細胞を遊走させる能力を細胞に付与する可能性があります。細胞外 N 末端成長因子、細胞外マトリックスプロテアーゼを介して結合し、それらの活性を調整します。黒色腫細胞の浸潤特性に関与する I 型コラーゲンの MPP16 依存性分解および浸潤を制御する可能性があります。プラスミノゲン活性化を促進し、アンジオスタチンを阻害することで、プラスミノゲンシステムを調整する可能性があります。細胞質 C 末端の足場タンパク質およびシグナル伝達タンパク質を介して結合することにより、シグナル伝達タンパク質としても機能します。Rho GTPase の活性化を介して、退縮線維の形成と細胞分極を促進する可能性があります。CDC42、ACK1、BCAR1 を介したシグナル伝達カスケードをリクルートおよび活性化することにより、 $\alpha 4$ 、 $\beta 1$ インテグリンを介した接着および伸展を刺激する可能性があります。FAK および ERK1/ERK2 シグナル伝達カスケードを活性化する可能性があります。

研究分野

画像データ



A375 細胞溶解物中の NG2 発現のウェスタン ブロット分析。